

CASBEE-建築(新築)2016年版  
 (仮称)ヒラキ電計機けいはんな事業所

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>								
1 音環境								
1.1 室内騒音レベル								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽衝撃源)								
4 界床遮音性能(重衝撃源)								
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1 室温								
2 外皮性能								
3 ゾーン別制御性								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 屋光利用								
1 屋光率								
2 方位別開口								
3 屋光利用設備								
3.2 グレア対策								
1 屋光制御								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質								
4.2 換気								
1 換気量								
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮								
4.3 運用管理								
1 CO <sub>2</sub> の監視								
2 喫煙の制御								
<b>Q2 サービス性能</b>					0.44			<b>3.2</b>
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観								
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画								
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
2 耐用性・信頼性				3.3	0.50			3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				4.0	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		金属断熱サンドイッチパネル:30年		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		耐用年数が永い内装材を採用している		5.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				5.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		使用量上位3種のうち、2種以上にB以上を使用、Eの使用なし		5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20			
2.4 信頼性				3.0	0.20			
1 空調・換気設備				3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20			
3 電気設備				3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20			
5 通信・情報設備		通信手段の多様化、災害時にケーブルテレビから情報を入手		4.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.2	0.50	-	3.2
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	-	-
1 階高のゆとり		面積加重平均:4.24	4.0	0.60	-	-
2 空間の形状・自由さ		0.1≦壁長さ比率:0.104 <0.3	4.0	0.40	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-
3.3 設備の更新性			2.8	0.40	-	-
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-
2 給排水管の更新性			2.0	0.20	-	-
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.66	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.6	0.30	-	2.6
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	2.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	1.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		事務所用途:BPIm=0.57	5.0	0.04	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 1.52	1.0	0.60	-	1.0
4 効率的運用			2.5	0.24	-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-
4.2 運用管理体制			2.0	0.50	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.20	-	3.4
1.1 節水		節水コマ+省水型器具の採用	4.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60	-	2.9
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材が容易に分別可能+再利用できるユニット部材	5.0	0.20	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-
1 消火剤			-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		発泡断熱材の使用なし	5.0	0.50	-	-
3 冷媒			3.0	0.50	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	2.3
1 地球温暖化への配慮			1.0	0.33	-	1.0
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-
3 交通負荷抑制		適切量の駐車・駐輪スペース、荷捌きスペースの確保	4.0	0.25	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1 騒音			3.0	1.00	-	-
2 振動			-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-
2 砂塵の抑制			-	-	-	-
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-